

(別紙)

生産状況報告書、鋼造船所施設状況報告書の記入要領

I 生産状況報告書

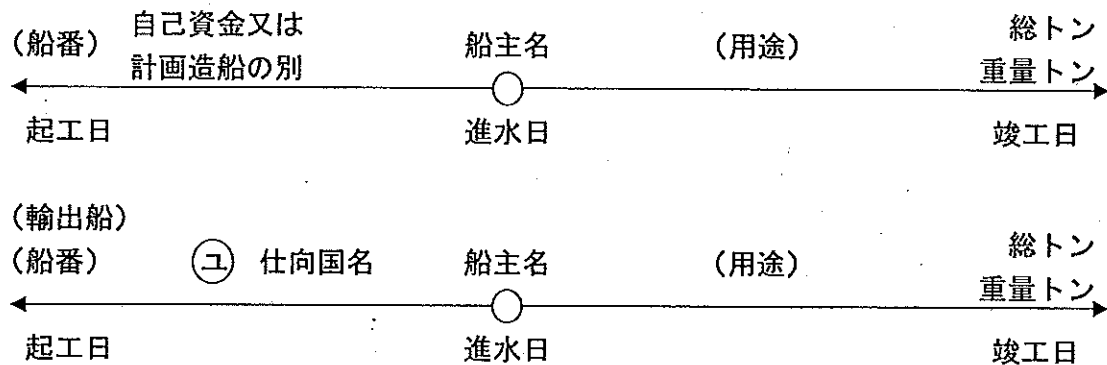
1. 新造船工程表

(1) 既契約船、未契約船の区別

既契約船（建造許可を要するものは、既許可船）は実線、未契約船（建造許可を要するものは未許可船）は点線で記入すること。

(2) 記載例

(国内船)



起工、進水、竣工が完了している場合にはその日付けを記入すること。

2. 工事時間数

(1) 調査の対象 生産部門のみ

(2) 記入要領

新造については、一船毎に月別直接工事の着手から竣工にいたるまでに要する直接工事総時間数を記入すること。

(3) 請負工事数

工事時間数には、外注品以外の請負工事の時間数をもこの中に含めること。

(4) 新造船工事

新造船工事は船体製造、船体艙装、機関艙装、電気艙装、の合計工数とし、機関内作工事時間数は含めないこと。

(5) その他工事

主機内作時間数、ボイラー、原動機、化学機械、鉄骨橋梁、その他一般機械、類工事の合計時間工数である。

3. 鋼材搭載重量

(1) 新造については、一船毎に月別に搭載重量を記入すること。

II 鋼造船所施設状況報告書

船台

(1) 製造しうる船舶は仮設船台等の仮設設備を考慮したものは記載しないこと。

(2) 平均潮高時における陸上耐圧部の長さはせき扉を有する場合は乾水できる場合の長さを含む。平均潮高時の水中耐圧部の長さはせき扉を有する場合には乾水できる場合の長さを除く。

- (3) 備考欄には各船台の使用状況を記入すること。

#### ドック

- (1) ドックの種類は「乾ドック」「浮ドック」「建造ドック」の別を記入すること。  
(2) 浮ドックの場合は相当する事項を記載すること。  
(3) 備考欄は各ドックの使用状況を記入すること。

#### 引揚船台

- (1) 備考欄には各引揚船台の使用状況を記入すること。

#### 船殻ブロック組立定盤等

- (1) 備考欄には、移動式、固定式コンベア一定盤等の別を記入する。  
(2) 撓鉄用定盤も記入すること。

#### けい船設備及び引船

- (1) 備考欄にはけい船方式(横づけ、縦づけ)をブイの場合は単複の別を記入すること。

#### 重量物運搬設備

- (1) 場所欄は○船台附属等を記入すること。  
(2) 移動距離は軌条の長さを記入すること。  
固定式の場合は備考欄にその旨記入すること。  
(3) 最大つり揚力量、最大つり揚高さ、最大つり出距離の記入方法は次の例にならうこと。

例 最大つり揚力量25m80t、最大つり出距離40m、最大つり揚高さ45mの塔型水平引込式クレーン。

最大つり場重量	80t (25m)
最大つり場高さ	48m (80t)
最大つり出距離	40m (50t)

- (4) その他の欄にはトラッククレーン等を記入すること。

#### 鋼材加工機械

1. 鋼材加工機械の名称欄には次の例示にならって記入すること。

種類	名称
(1) けがき機械	電子写真けがき装置 投影けがき装置
(2) 切断機械	自動、半自動、手動ガス切断機、プレーナー、 N.C切断機等
(3) 曲げ加工機械	ペンディングローラー プレス、パイプベンダー、フレームベンダー
(4) 溶接機械	自動、手動溶接機等 交流電弧溶接機

備考欄には片面自動溶接機等を記入すること。

#### 2. 工場配置図

- (1) 工場配置図の大きさは横36cm×25cmにより指導されたい。  
(2) 配置図には各工場、施設の名称のほか下記事項を記入すること。  
(イ) 船台、ドックはそれぞれの最大能力  
(ロ) 船台周辺のクレーンのそれぞれの力量及び吊出し範囲  
(ハ) 屋外組立場は場所毎の面積